

2006年4月18日に、チューリッヒ州ウスターの地元紙 *Anzeiger von Uster* 紙に掲載された記事の紹介。同年発表された新譜 CD 「Piano Diamonds」について紹介された。

2006年4月18日（火）付け ZO/AvU ウスター発

ロルフ W. クンツさん、大変レベルの高い曲を自ら作曲・演奏したCDを発表

感性から生み出された、だれもが親しめる音楽

ロルフ・クンツさんがピアノの前に座ると、彼のハートと頭はサウンドでいっぱいになる。彼の指を通してそのサウンドが音楽の形に仕上がりに、オーケストラとともに録音した彼の音楽が人々を魅了する。

マリエンヌ・マイスター（記者名）

ロルフ W. クンツさんは音楽一家に育った。伯父さんのエルヴィンエルンスト・クンツ氏は、チューリッヒ・トーンハーレでコントラバスとチューバの奏者だった。「伯父さんは、現役時代世界屈指のチューバ奏者でしたが、ピアノを含め、さまざまな楽器をこなしてきました」とクンツさんは語る。

アルベルト・ヘーベルリングに師事

ロルフ W. クンツさんはウスター出身。祖父母、両親ともにウスターに住んでいた。彼は10歳でピアノを習い始める。ウスターの有名な音楽家 アルベルト・ヘーベルリングにピアノを習い、のちには伯父にピアノと和音楽を学んだ。

20歳頃から自分で作曲を始める。現在56歳の彼は、4枚目のCDを製作したばかりだ。

ハートと頭から生まれたメロディー

ロルフ・クンツさんは、控えめで、自分自身を評してコンサートピアニストでも作曲家でもなく、単なる「メロディー作り人」だと語る。

彼は、あらかじめ準備したコンセプトで作曲することはしない。時には何週間も作曲しないこともあり、また突然再開したりする。ハートと頭からメロディーがあふれ出し、それが指先に伝わり、ピアノを通じてサウンドになる。まずそのメロディーを聴いて、それから楽譜に書き上げていく。想像力を駆り立てるすばらしい作品ができあがり、誰もが親しめる音楽となる。クンツさんの曲を聴くと、心の目でイメージを描くことができる。イタリアの白い雲と夏の光あふれる空、海の怒濤、タンポポに覆われた牧草地のイメージなどなど。孤独な心や恋人たちにピッタリのメロディーだ。寂しい人には幸せをもたらし、幸せな人には夢をもたらしてくれる。

ミュージシャンで作曲家、音楽プロデューサーでもあるアレックス・オイグスターさん（CH-Records, 8600 Düberndorf）は、ロルフ・クンツさんのことを感性豊かな人物だと言う。メロディー作り人にはムードが必要で、その気分が音楽に入り込み、メロディーに反映していく。クンツさんは言う。「ぼくは、楽道家でその上ロマンチストなんです」

オーストラリアからのオーケストラ

3枚目のCDでは、ドイツ生まれの音楽家クラウス-ディーター・ツィマー氏がクンツさんのメロディーを美しく精巧なオーケストラ音楽作品に仕上げるために、全力を注いで編曲してくれた。

クラウス-ディーター・ツィマー氏は、3枚目のCD「恋人たちのためのピアノ曲」と最新作の4枚目のCD「Piano Diamonds」の間に、オーストラリアに移住した。クンツさんはそんな訳で、新しく作曲したメロディーをオーストラリアに送っている。

天才的なコンビネーション

アレックス・オイグスター氏はクンツさんの作品にぞっこん惚れ込んでいる。「分かりやすくて軽やかなメロディーとクラシックオーケストラ向け音楽がミックスされた「天才的なコンビネーション」だ言う。クンツさんの音楽を心に刻むことはとてもうれしいことです。彼は優れた演奏技術とレベルの高い音楽性を備えています。ハーモニーでもスパークリングメロディーでも、彼の力強いタッチ、ダイナミックで繊細な演奏ぶりは、聴く者の心を捉えて離さない。」

CD「Piano Diamonds」は、音楽専門店もしくはオンラインショップのほか、下記で注文できます。

CH-Records, A & J Eugster Music, CH-8600 Dübendorf, music@eugstermusik.ch
rolfwkunuz@bluewin.ch or piano@rolfwkunuz.com